

# HBMS 座談会

※学年・所属先については、令和3年11月末時点での情報です。

※座談会は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した上で実施しています。



## 磯貝 日月

県立広島大学大学院  
経営管理研究科  
講師

## 岩下 三希さん

HBMS 1年生  
全日本空輸株式会社  
客室センター客室乗務3部  
客室乗務員

## 松本 明子さん

HBMS 1年生  
松本社会保険労務士事務所  
所長

## 小林 靖孟さん

HBMS 2年生  
広島大学大学院 医系科学研究科  
救急集中治療医学教室 所属、  
救急科専門医

## スバラムニ・プニタフェルさん

HBMS 2年生  
日本タタ・コンサルタンシー・サービス  
(日本TCS)  
ビジネスリレーションシップマネージャー

## 異なる業種の仲間たちからの発見と刺激 新しいアイデアや成長につながる2年間

### ビジネスの基礎知識を体系的に学習

### MBA取得でキャリアアップを目指す

**磯貝** 皆さんの入学のきっかけは？

**松本** HBMSができたときに同業の友人から一緒に大学院で学ばないかと誘われて興味を抱いたのですが、その時はまだ子育てにも手が掛かり、事務所も1人体制だったので断念。いつかはと思いながら、事務所の体制を整えスタッフを育て、自分の時間を作る準備をしてきました。今春、上の子が大学生になったことで子育てが一段落し、この先の自分の人生をどう生きるかを考えるようになって…。社労士としてもっとステップアップし、経営者の抱える問題に幅広い知識で役立てるようになりたいと思い、学びを決意しました。



**小林** 私は、医師として中堅に差し掛かり、部門のリーダーや指導的立場を任せられることが増えてきました。しかし人的・物的資源のマネジメント、ネゴシエーション、組織管理という局面で、自らの力量不足を実感。そうした状況を打開すべく解決策や勉強すべきテーマを探していたところ、欧米において「医師+MBA」が徐々に広まってきていることを知りました。日本ではまだまだ認知度は低いものの、医療費高騰や人員不足などビジネス的な問題点を多く抱える医療業界に対して、「医師+MBA」は社会的価値の高い組合せではないかと感じたのがきっかけです。



**岩下** 入学の動機は2つあります。1つ目は、現在私は全日本空輸株式会社の客室乗務員として従事していますが、将来的

に広島で航空業界を目指す人たちの就労支援や、感情労働従事者へのサポートを行いたいと考えているからです。HBMSでは、事業内容をより具現化していくために入学を決意しました。2つ目は、自身のビジネス知識の欠如に危機感を抱いたからです。私の職種は専門職です。また、新卒で今の会社に入社したので他の業種・職種のことは全く分かりません。一生、客室乗務員として働くならそれでいいのかもしれませんが、私は入社前から「いずれは起業を」と考えていたので、体系的にビジネスの基本的な知識から実践まで学べるのはHBMSだと思ったからです。

**プニタフェル** 私が働いているのは、グローバルで展開するインドのITソリューション企業のタタ・コンサルタンシー・サービスと日本の三菱商事の合併会社です。5年前に来日したのですが、日本においてビジネスで成功するには、日本の文化に精通する必要があると感じました。本で文化を学び、日本語の学習もしましたが、それでもまだ埋められない部分がたくさんあるのです。そこで、日本の教育機関でMBAを取得しようと決意し、HBMSにたどり着きました。

### コロナ禍の影響により空き時間も

### 充実した忙しさが張り合いに

**磯貝** 入学前と入学後の生活の変化は？

**松本** 授業は土曜日と平日18時30分から21時30分までなので、入学前の体制作りで乗り切れると思っていましたが、入学した頃からコロナの影響により仕事が忙しくなり、想像以上の課題の量に最初の頃は寝る時間がほとんど取れなくなって自分の限界を超えました。

**磯貝** どうやって乗り切ったんですか？

**松本** 家事で省略できることは何かを考え、最新家電のフル活用と家事代行のサポートなどを取り入れました。育休中に社労士の資格を取り、下の子が4カ月の時に独立開業して、これまでも仕事と家事・育児の両立を何とかしてきたので、家事・子育ての時間が空いた分ではずと自らを奮起させながら頑張っています。応援してくれる家族の支えと協力は大きいですね。コロナ禍でzoom授業が増え、通学時間が減り、会食する機会も減ったので、その時間を勉強に充てています。その点では今が学びのチャンスだと思っています。

**岩下** 私は逆に、昨年は新型コロナウイルスの影響でフライトがほとんどなくなり、忙しい方が好きなのでもどかしい気持ちで過ごしていましたが、入学のための準備に時間が取れたので良いタイミングだったのかもしれない。入学後は、レポートやグループワーク、プレゼンテーションの準備など夜遅くまで課題に追われることが多かったのですが、大学生の時以来のことも多くとても新鮮で…。「忙しいけど充実している」という状況が幸いです。

### 職場などでリーダーシップを発揮

### 広い視野で業務に携わることができる

**磯貝** 働きながら学ぶことのメリットは？



**小林** 医師は職人のような技能を求められる専門職。現場に立ち続けることで、技

能やそれを支える感覚を維持することが重要だと考えています。その中で、職人は職人同士で競争して一番を目指しがちなのですが、学びによって視野を広げることで、職人の技能を社会的価値へと上手に変換できるようになるのではないのでしょうか。学ぶことのメリットはまさにそこにありそうです。技能の維持はどうしても必要なので働きながら学ぶという両立が重要となりますが、専門職こそ、働きながら学ぶことのメリットは大きいように思います。**プニタフェル** ビジネスにおいては、多くの人が何故そのことをしているのかわからないままに行うグレーな領域が多くあります。仕事と勉強を両立することで、従事するビジネスをマクロとミクロの両方の観点から捉えることができます。MBAは実践スキルであり、どんなに理論を学んでも、実際の状況で実践しない限り真の意味での要点はつかめないと思います。



**磯貝** どんなことを実践してみましたか？

**プニタフェル** 例えば、リーダーシップとは誰もが知っている資質のことですが、独裁的、権威的など様々なリーダーシップスタイルを学べば、自分のチームで最大効果を得るスタイルを適切に展開することができます。私自身もHBMSに通い出してから、家族にも職場の仲間にも、「この人の決定案なら間違いなだろう」という信頼感をより持ってもらえるようになりました。

**岩下** 私の職種は専門職なので、HBMSで学び、すぐに実務で…とはいかないのですが、授業で習った知識をもとに会社のことを見つめ直す機会ができています。例えば、アカウンティングの授業では、財務諸表を習いますが、今までは弊社の財務諸表の数字を「ただの数字」でしか見られませんでした。しかし、今はこういう背景が

あって、こういう現状が数値化されていると「数字のその先のバックグラウンド」が見えます。HBMSに入学していなかったら、体感できなかった変化だと思います。



### 個性豊かで知識も豊富な仲間との縁 広島での活躍に役立つつながり実感

**磯貝** HBMSでの出会いについてはどう感じますか？

**松本** 多様な職種、経験も異なる仲間、大学院でなければ縁がなかった方達との出会いは本当に刺激的です。皆さん個性豊かで専門知識が豊富なので、同期から学ぶことも本当に多いです。課題の進捗を報告しあったり、励ましあったり、仲間の存在がとても支えになっていますし、グループワークを一緒にする中で「こんな考え方もあるんだ」と驚くとともに、自分の視野の狭さを思い知ることもあります。それぞれ目標を持って広島の地で活躍する一生の仲間を得た喜びは大きいですね。

**小林** 私は、将来的に活躍する土地は生まれ育った広島でありたいと考えており、公的病院の救急部門長として広島の地域医療に貢献することがおよそ20年後の目標です。そのため、広島で活躍する同期や先輩・後輩、先生方とつながりを得られるのもHBMSの魅力の一つでした。ちなみに、私は5期生なのですが、新型コロナウイルスの影響なのか、4期生との接点が非常に少なかったのが残念でもあり後悔でもあります。今後はHBMSの縦のつながりを整備することにも少しずつ注力していければと思います。状況が落ち着けば開催したい企画もたくさんあるので、在学中も卒業後も、仲間と一緒に色々なことを取り組んでいきたいですね。